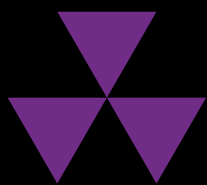


神を学び、  
人を知る。



同志社大学神学部・神学研究科  
SCHOOL OF THEOLOGY  
DOSHISHA UNIVERSITY

## 教育研究目的

神学部神学科は、創立者、新島襄が掲げた建学の精神である「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」に基づいて神学の教育研究を行い、「良心を手腕に運用する人物」の育成を目的としている。

本学部学科は、2003年度から、従来のキリスト教研究にイスラーム研究とユダヤ教研究を加えることにより、研究教育の対象を中東生まれの3つの一神教に拡大した。これは、2001年の「9・11」以降、一神教の理解なくして世界を適切に把握するのは不可能であることが明らかになったからである。これら3つの一神教とその世界を学ぶことを通じて、人間・歴史・文化・社会を広く深く理解し、文明の共存に貢献することを目指している。

## 人材養成目的

神学部神学科は、人類が作り上げ蓄積してきた、生きるための知恵である宗教を学問的に研究することを通じて、広く深い人間理解と知的洞察力を身に付けた教養人の養成を目指している。具体的には、企業人・公務員、あるいはキリスト教福祉・教育・研究・国際交流などの各分野でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的としている。

## DIPLOMA POLICY

### 知識技能

宗教とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する諸問題の本質を、人間・言語・歴史・文化・社会に対する客観的考察（調査と文献批評）を通して理解できる。

### 思考力 判断力 表現力

宗教とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する諸問題を発見・解決するために必要な知的洞察力や学問的方法論や語学力を運用できる。

### 主体性 多様性 協働性

宗教とりわけキリスト教、イスラーム、ユダヤ教という3つの一神教とその世界に関する諸問題を積極的に発見し、その適正な解決方策を学問的に探究できる。







## ■ 神学部での学び

神学部では宗教について学ぶことができます。具体的には、キリスト教、イスラーム(教)、ユダヤ教の三つの宗教です。同志社大学はキリスト教主義ですので、キリスト教を学べるのは当然のことですが、そこにイスラームとユダヤ教も加わります。三つの宗教を学べることが同志社大学神学部の大きな特徴です。キリスト教はユダヤ教から出てきた宗教で、ユダヤ教とキリスト教の流れの中から登場したのがイスラームです。これらの宗教には、複数の神ではなく、唯一の神を信じる「一神教」という共通点があります。神学部は、2003年からイスラームとユダヤ教を研究分野とする教員が加わり、現在は一神教の教育・研究機関となっています。

キリスト教徒の数は世界の全人口の約1/3、イスラーム教徒は約1/5で、二つを合わせると全人口の半分を超えます。「グローバル化」という言葉が至るところで聞かれる現在、世界を理解しようとするならば、キリスト教やイスラームについての知識は必須となるでしょう。またユダヤ教徒の数は東京の人口とほぼ同じで、キリスト教やイスラームと比べて多くはありませんが、ユダヤ教はキリスト教とイスラームにつながる一神教の源流というべきもので、知っておくべき重要な宗教です。同志社大学神学部はこれら三つの宗教を広く、そして深く学べる場所です。こうした研究・教育機関は日本では同志社の他にはありません。

神学部の学生はキリスト教、イスラーム、ユダヤ教を中心に学びますが、それだけではありません。同志社大学は総合大学ですので、宗教のみならず、他の学問・研究分野の科目を履修し、幅広い知識を獲得することができます。また、さまざまな外国語を習得することもできます。

## ■ 神学部での学生生活

現在、神学部の学生数は約300名です。同志社大学の中でもっとも小さな学部です。1学年の定員が63名ですので、学部生全員と知り合いになることができ、まさにアットホームな学部と言えるでしょう。また神学部では、一つの演習クラス(ゼミ)だけを履修するのではなく、関心・興味があれば、複数の演習クラスに参加できますので、多くの教員と親しくなることができます。必修科目も2単位(1科目)だけですので、科目登録についてはかなりの自由度があります。こうしたことから、学生の神学部に対する満足度はたいへん高く、このことは神学部が誇りとすることのひとつです。

神学部は信仰を持っていることを入学の条件には掲げていません。それは、信仰のあるなしにかかわらず、誰にとっても神学・宗教の知識は必要不可欠なものであると考えてきたからです。誰でも神学部の入学試験にチャレンジできます。学生の多くは信仰とは関係なく入学し、神学・宗教を学び、学内のサークル活動などに積極的に関わり、神学部以外でも友人を作り、さらには学外でのアルバイトなどを通して様々な人と出会い、いろいろな経験を積んでいます。将来キリスト教会の教職者(伝道師、牧師)を目指す学生は教会での実習を行い、将来に備えています。在学中に留学する機会もあります。

## ■ 神学部生の進路

多くの学生は一般企業に就職します。就職先は多種多様です。神学部では、一般就職を目指す学生のための科目も設置し、学生の就職活動を学部全体で支援しています。神学部は就職活動において不利なのではと思われるかもしれませんが、一般企業の内定を獲得した学生たちは、むしろ神学部というユニークな学部の学生であることをセールスポイントにしました。一般就職を希望する場合は、他学部の授業もしっかり受講し、就職のために必要とされる知識を身に付ける必要があります。公務員を目指す学生も毎年います。キリスト教会の伝道師・牧師になろうとする学生、それと神学・宗教の研究者を目指す学生は、大学院の神学研究科に進学します。他大学の大学院を受験する学生もいますし、神学部在籍中に新しい目標が決まり、専門学校で学び直す学生もいます。

神学部卒業後、どのような方向に進むにしても、神学部での4年間の学びが学生一人ひとりにとって充実した有意義なものとなるよう、神学部の全教職員がお手伝いします。





# 画期的なカリキュラム

目的や進路に応じて自由にデザインできる

神学部のカリキュラムの特徴は、自由度が極めて高いことです。必須科目はわずかに2単位(1科目)だけ。それぞれの学生の目的や将来の進路に応じたカリキュラムをきめ細かなガイダンスを通して独自にデザインできます。またゼミを制限無く履修でき、単年度に複数のゼミに入ることも可能です。しかも他学部、さらに他大学、大学コンソーシアム京都で得た単位のうち36単位までが卒業単位として認定され、「国際政治と宗教」、「社会福祉と宗教」、「科学技術と宗教」などのテーマで、複眼的な学びが実現可能です。

また3つの一神教を研究するための言語として、ヘブライ語、新約ギリシア語、アラビア語も「英語以外の外国語」(第二外国語)として選択できます。神学部・神学研究科の提供科目は神学部ウェブサイトに掲載されています。

<https://theo.doshisha.ac.jp/>

## 神学部で何が学べるのか

### 聖書学

聖書(旧約聖書・新約聖書)はキリスト教信仰の土台ともいうべきものです。聖書学では、聖書の思想はもちろんのこと、そうした思想を生み出した歴史的背景も学びます。また、聖書として成立するまでのプロセスや、成立してから現在に至るまでの聖書解釈の歴史も取り扱います。聖書ヘブライ語と新約ギリシア語を習得することにより、聖書を原典で読むことができます。

### キリスト教史

キリスト教は2000年もの長い歴史をもっています。キリスト教を理解するためには、その歴史的展開をしっかり把握しておく必要があります。とくに、ヨーロッパ、アメリカ、日本におけるキリスト教史を深く学びます。キリスト教史を通して、キリスト教が宗教にとどまらず、文化や政治などいろいろな領域に大きな影響を及ぼしてきたことを知ることができます。

### 組織神学

神、世界、人間、救済などに関するキリスト教思想を体系的に学びます。具体的には、代表的なキリスト教神学者の思想に学びつつ、わたしたちが直面している現代社会の諸問題(環境問題や生命倫理など)も考察の対象として取り上げ、キリスト教的なアプローチの中で生きる指針を追求します。

### 実践神学

教会、礼拝、説教など、キリスト教信仰の具体的な形態や現象を研究します。キリスト教が広く社会の中でどのような働きをしているのかについても学びます。メディア、カウンセリング、人権と差別、現代医療などとキリスト教との関わりも取り上げます。

### キリスト教文化学

キリスト教と音楽、キリスト教と教育、キリスト教と文学などをテーマとして取り上げ、文化のいろいろな領域におけるキリスト教の影響や役割を知ることができます。キリスト教に根ざした幅広い教養を身につけることをめざします。また、一般就職に備えるための科目も提供します。

### イスラーム学

イスラームの教義・思想・実践を学びます。イスラームの教義・思想・実践の基盤とされる啓典「クルアーン(コーラン)」とハディース(預言者ムハンマドの言行に関する伝承)を学ぶことはもちろん、それらの解釈と利用を主要な源として展開してきたイスラーム法学(シャリーア)やイスラーム神秘主義(スーフィズム)などについても学びます。また、「サラフィー主義」や「ジハード主義」と呼ばれる、現代イスラーム主義の思想や運動の諸相も取り上げます。

### イスラーム文化学

ムスリム(イスラーム教徒)の文化・社会・政治を学びます。イスラームは7世紀以来1400年あまりの歴史を持ち、現在のムスリムたちは、中東・南アジア・東南アジアを中心に世界中に暮らしています。それらの幅広い時代・地域に暮らしてきたムスリムたちは、それぞれに様々な文化・社会・政治を営んできました。ムスリムたちの文化・社会・政治における、時代的・地域的多様性を学ぶことは、イスラームを広く深く理解するために重要なのです。

### 古代近東学

古代近東学とはエジプト学、アッカド学、ヒッタイト学、ウガリット学などの総称です。これらの古代文化に由来する文書テキストや考古学的資料を研究することによって古代世界の言語・歴史・社会・宗教などを解明します。また、旧約聖書のよりよい理解にも必要です。

### ユダヤ学

旧約聖書、ユダヤ教、ユダヤ人に関して、思想や文化や歴史などあらゆることを学ぶことができます。ユダヤ教の理解はキリスト教やイスラームを理解するうえで重要であり、ユダヤ人に対する知識は現代の政治や社会を分析するときにも大いに役立ちます。

### 宗教学

宗教社会学・宗教学人類学・宗教心理学など、近代的な人文科学・社会科学の方法を用いて宗教現象を研究します。その際、一神教だけでなく、仏教やヒンドゥー教など世界の諸宗教も研究対象に含め、比較考察します。

## 卒業論文タイトル(一部)

- ムスリムミンダナオの政治経済的不平等についての一考察—真の和平実現への課題—
- 企業の持続可能性とキリスト教—聖書を土台とした企業運営と労働観—
- オットーの「ヌミノーズ」とユングの「元型」の比較研究
- 日本における「ケガレ」の両義性と転換について—ダグラスと関根の人類学的アプローチに基づいて—
- ヘブライ語聖書における戦争の思想—アカンの罪と戦争規定からの考察—
- 日本における病と穢れの関係性についての考察

- キリスト教教育が子供の自己形成に与え得る影響—自尊感情の視点から—
- ルツ記についての一考察—異邦人問題を中心に—
- 「死の舞踏」の中にある中世後期ヨーロッパの死生観
- 現代イスラエルにおける宗教シオニストの女性の兵役—イスラエル社会の多面的変化—
- ベルシア絵画から見るサファヴィー朝の性規範—オリヴァー・アッパーブーの作品分析を通じて—
- 日本における文脈化神学についての考察—魚木忠一の「日本基督教」を中心に—
- サイド・クトゥブの西洋観—1948年から1951年におけるアメリカ滞在を通じて—

優れた内容の論文には「卒業論文優秀賞」が与えられます。



# 在学生の声

## 体験したことが、聖書の言葉につながる。



澤田 果歩さん（神学部神学科 2018 年度生）

キリスト教主義の中学・高校の出身ですが、私自身はクリスチャンではありませんでした。とても落ち込んでいた時期、クリスチャンの先生からの「こんなとき私たちなら、神様がそばにいてくださると思えるんだけど…今はつらいよね」という言葉を受け、「神様」という存在に興味を持ちました。神学部に進学後、「キリスト教倫理」の授業を受講した際に、「隣人を自分のように愛しなさい」という聖書の一節から「自分を愛せないと、他人を愛することはできない」と知ったことが、その後の大学内外での活動や研究テーマに結びついています。女の子たちの居場所づくりのボランティアや、神学部新入生キャンプのスタッフなど色々な活動に参加し、そうした体験がこれまで学んできた聖書の「言葉」につながっていくのを実感できました。3年次生の時に受洗し、私もクリスチャンに。卒業後は大学院で、キリスト教教育が子どもの自己形成に与える影響について追究していきたいと考えています。

## イスラムの古典倫理を学べる貴重な環境。



成亥 サイヤド ゼーンさん（神学部神学科 2020 年度生）

入学前はメーカーで2年間、営業職を経験。ムスリムとして育ちましたが、動画サイトで本学神学部の講義「一神教との対話」を視聴したことで、イスラム教を含む「一神教」への関心が高まりました。また「臨床教会」など、キリスト教の社会福祉にも興味を抱き、会社を辞める決意をしました。神学部は、私の関心分野であるイスラム古典を研究している先生がいらっしゃる、アラビア語が学べたりと、全国でも珍しい宗教系学部です。関心のあった「臨床教会学」の講義では、宗教による人々へのスピリチュアルな救済が、QOL(生活の質)向上に与える影響の重要性を実感できました。在学中はさらにアラビア語の学びを深め、イスラムの古典を学びたいです。イスラムの古典倫理の理論から現代社会の倫理について考え、西洋的な思想とは違う視点から人の倫理や良心について学んでいきます。卒業後も学ぶことを止めずに続けていきたいと考えています。

# ゼミ紹介

## 互いに刺激し、学び合う場。

ゼミは、興味のあるテーマを選んで発表し、参加者で議論する場です。

### キリスト教からの展望（卒業論文演習）小原克博

このクラス（小原ゼミ）では、キリスト教・宗教・文化などにかかわる課題の中から、参加者の関心に基づいて自由にテーマを設定し、発表のための技法（プレゼンテーション能力）と学術論文作成のための文書作法（文章能力）を身につけていくことを目的としています。最終的に卒業論文を書き上げることによって、これまでの「学び」の総括をすることになります。

サブカルチャー、動物、食、美術、ビジネス、葬送儀礼、国際紛争など、参加者の関心は多岐にわたりますが、それらと宗教を関係づけながら、ユニークな発表や論文へと仕上げていくのは、とてもエキサイティングなことです。

このゼミでは、従来の知識習得的な学びを超えて「探索的な学び」を体感するために、オフキャンパスの課外活動も積極的に行います。夏のゼミ合宿の他、びわ湖サイクリング、校祖墓参・大文字山登り、ゼミ旅行などを通じて、親睦を深めるだけでなく、世界観・人間観を深めていきます。



藤田 一都さん  
（神学部神学科2018年度生）

### 「企業の倫理」が問われる時代に キリスト教が果たせる役割とは。

私はクリスチャンであり、聖書に親しんで育ちました。高校卒業後は就職も考えましたが、企業の不正や不祥事が話題になる昨今、「倫理」について学びたいと思い、神学部に進学。小原先生は、キリスト教倫理はもちろん、幅広い分野に精通されています。私の研究テーマは、企業の持続可能性とキリスト教の関連性、そして宗教的倫理観を土台とした企業運営について。ゼミでは説得力を持ってプレゼンする力を伸ばすことができました。卒業後は地元の鉄鋼製品メーカーに就職。地域貢献やSDGsに熱心な会社で学んだことをどう活かすか、今から楽しみにしています。



井上 未空さん  
（神学部神学科2019年度生）

### 「食と宗教」をテーマに、宗教が 「食」に与える影響を研究中。

高1のときに米国大統領選挙があり、「宗教票」が政治に影響をもたらすことを知りました。宗教が生活に与える影響に興味を抱き、神学部へ。入学後、小原先生の著書「ビジネス教養として知っておきたい世界を読み解く『宗教』入門」を読み、先生のゼミを選択しました。現在は「食と宗教」をテーマに、環境問題や経済システムと宗教の関連について研究中。将来は企業で国際社会に関わる仕事をしたいと考えている為、在学中に中東地域に赴き、フードマーケットを視察したいと思います。日本の食品事業がハラルマーケティングに参入するための課題を探ります。



# 卒業生からのメッセージ



## 宗教を学ぶことで 国際的な視野を獲得する。

財務省 大阪税関 関西空港税関支署  
榎田 健斗さん(神学部神学科2021年3月卒業)

旅客機や貨物機で入国・出国する旅客や貨物に対して検査や取り締まりを行っています。両親も私自身もクリスチャンではなかったのですが、母方の祖父がスコットランド系のアメリカ人で、クリスチャンでした。キリスト教を学ぶことが自分のルーツを知ることに繋がるのではないかと考え、神学部入学を決意。同志社大学を選んだのは、キリスト教のみならずユダヤ教やイスラームについて学ぶことに魅力を感じたからです。在学中に学んだ授業で印象に残っているのは、キリスト教の教えが医療の現場やカウンセリングに活用されている事例についてです。日常生活とキリスト教の意外な接点を知ることができました。また、授業の一貫として教会の礼拝に出席したことも。信仰と生きる人々も自分も変わらないという、考えてみれば当たり前のことを知ったのは、とても大きかったと思います。卒業研究では、スコットランド女王メアリー・スチュアートのプロテスタントに対する姿勢を評価。現在の仕事では各国から訪れるお客様と関わることになりますが、神学部でキリスト教・イスラム教・ユダヤ教について学んだことが、海外の人々の考え方を理解するのに大きく役立っていると思います。

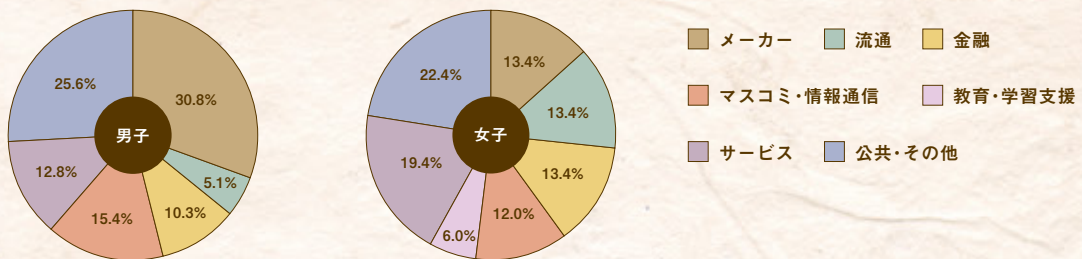
## 日本企業の精神文化を研究。 卒業後、海外の大学院へ。

PwCアドバイザリー合同会社  
アソシエイト  
瀧崎 絢子さん(神学部神学科2020年3月卒業)

高校2年でアイルランドに留学したとき、ホストマザーが当たり前のように毎週教会に通っていました。私の祖母が毎日仏壇に手を合わせるように、信仰が日常となっている人々の「文化」のあり方に興味を抱き、同志社大学神学部に進学。学びを進めるうちに着目したのが、日本の企業に見られる強固な「共同体精神」です。こうした独特の企業文化と戦前・戦中の国家イデオロギーの関連性について卒業論文を作成。その過程で国家とナショナリズムの関係に興味が発展し、卒業後はさらにそのテーマを追究することを決めました。学部在学中に1年間の留学を経験した、スコットランドのエディンバラ大学大学院に進学。すでに現在の勤務先に就職が決まっていたのですが、会社は私の意志を尊重し、大学院で学ぶことを快諾してくれました。コロナ禍のため完全にリモートでの大学院生活となりましたが、1年間で修了。その後、企業のM&Aや事業の立て直しなどを支援する現在の勤務先で働いています。さまざまな企業と関わる仕事のため、それぞれの企業が継承してきた「文化」を知り、理解することに、神学部や大学院での学びは大きく役立っています。



## 最近の就職者：業種別比率



## 最近の主な就職先

- ・国家公務員(総合職)
- ・国家公務員(一般職)
- ・滋賀県 警察(警察官・警察事務等)
- ・大阪市
- ・日本年金機構
- ・関西電力
- ・東日本旅客鉄道
- ・三井物産アグロビジネス
- ・楽天グループ
- ・富士通
- ・エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ
- ・京セラ
- ・ローム
- ・ダイキン工業
- ・川崎重工業
- ・デンソー
- ・キリンホールディングス
- ・ワコール
- ・みずほフィナンシャルグループ
- ・滋賀銀行
- ・広島信用金庫
- ・東京海上日動火災保険
- ・明治安田生命保険
- ・大和証券グループ本社
- ・日本放送協会
- ・晃洋書房
- ・一般社団法人京都微生物研究所
- ・社会福祉法人しがらき会
- ・社会福祉法人成城会
- ・明日葉
- ・東京都教員
- ・梅花学園

## 入試ガイド

神学部には次のような入学試験があります

- ・ 一般選抜入学試験
- ・ 推薦選抜入学試験
- ・ 自己推薦入学試験
- ・ 大学入学共通テストを利用する入学試験
- ・ 第3年次転入学・編入学試験
- ・ 外国人留学生入学試験

神学研究科には次のような入学試験があります。

- ・ 一般選抜入学試験
- ・ 社会人特別選抜入学試験
- ・ 外国人留学生入学試験

※入学試験の種類・名称等は変更される場合があります。  
最新の情報は本学ホームページをご参照ください。



# 同志社大学

## 神学部・神学研究科

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

ji-sinjm@mail.doshisha.ac.jp

TEL: 075-251-3330 / FAX: 075-251-3072

▼ 最新情報はホームページをご覧ください。

<https://theo.doshisha.ac.jp/>